

# 基礎期通信「ひたまり」

市立札幌開成中等教育学校

基礎期通信 NO.17

2020.12.17.(Thu.)

みんなで対策を徹底しよう。

## 1. 基礎期の皆で確認をしたいこと～元気に年末を過ごすために～

今年の漢字は「密」でした。「密閉」「密集」「密接」など今までの生活が一変した1年。来年も「密」に注意しながらの生活になると思います。HPにも載せている内容ですが、校内における感染リスクの回避についてもう一度確認しましょう。

- (1) 毎日の健康観察記録表の記載ありがとうございます。今後も登校前に検温と健康状況の確認をお願いします。もしも朝の検温を忘れた場合は保健室で検温ができます。家族で発熱等の症状がないかどうかの確認をお願いします。
- (2) 次のような状況の時は、学校への連絡をお願いします。状況を確認し、休むことになった場合は、「出席停止扱い」となります。
  - ① 本人に発熱や風邪の症状がある時      ② 家族に発熱の症状がある時
  - ③ 医療機関や保健所から学校を休むことについて指示があった時
  - ④ その他 新型コロナウイルスに係る不安な状況にある時
- (3) 登校後に発熱や咳などの風邪の症状を感じた場合について  
当該症状がある場合は、保護者と連絡を取り早退します。また、早退した生徒の兄弟姉妹が本校、又は他の園・学校に在籍する場合は、当該の保護者及び園・学校へ連絡します。
- (4) 各教科等において、特に感染リスクが高いとされている次のような学習活動（生徒同士が近距離で話す活動等）については一定期間実施を控えます。
  - ① 生徒が長時間、密集又は近距離で対面形式となるグループワーク
  - ② 生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや管楽器の演奏
  - ③ 生徒同士が近距離で活動する実験や調理実習
  - ④ 保健体育における近距離で組み合ったり接触したりする運動 等
- (5) 昼食時は、食事の前後の手洗いを徹底するとともに、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控えることを徹底します。
- (6) 休み時間や放課後の活動時間においても、マスクの着用や三密の回避に留意するよう徹底します。
- (7) 部活動については、年内の活動は行いません。
- (8) 在籍する生徒以外(保護者や他校の教職員・生徒等)の入校は、一定期間制限することとし、業務上必要な入校者には、入校者の管理と把握に努め、身体的距離の確保や入校時の手洗いを徹底します。
- (9) 冬期間においても、一定の室温を保ちながら常時窓を開けるなどの換気を行い、衣服や暖房等による調節を行うなどして温度、湿度の管理を徹底します。
- (10) 登下校時における感染リスクの回避の徹底について
  - ① 身体的距離が十分確保できる場合を除き、登下校中のマスク着用を徹底するとともに、特に公共交通機関を利用する場合は、マスク着用に加えて車内での会話を控えるよう徹底します。
  - ② 生徒の下校時刻が公共交通機関の混雑時と重ならないよう、部活動や学習指導など放課後の活動時間に配慮します。(部活動は冬季休業明けに再開する予定です)
  - ③ 下校時刻の厳守と自宅への直帰について徹底します。

## 2. 新型コロナウイルス感染症の罹患が判明した場合の対応について

PCR 検査を受検し陽性となった生徒・教職員が出た場合、保健所等に報告をすることになります。その際「速やかに」「的確に」必要な報告を行うことにより、保健所からの速やかな回答を得ることができます。保健所には下記の(1)～(5)などを提出します。

- (1) 発症日の2日前からの、学校における行動歴※所属学級以外との交流も含みます
- (2) 教職員との接触の有無
- (3) 委員会活動の有無
- (4) 部活動の有無
- (5) 児童会館等外部施設の利用

提出後、保健所から濃厚接触者の指定を受けた生徒がいる場合は、保健所の指示に従い、PCR 検査を受けます。互いに不織布マスクの場合は2m以内15分以上になっても濃厚接触者とみなされない場合もあるとのこと、マスクの素材確認もあります。このようなことから、学校では不織布マスクを着用するようにし、感染防止の効果が高い新しい生活様式での行動を心がけましょう。

また、来週の冬休み前の1週間は教員も生徒もマスクの素材を確認し、もしも冬休み直前に罹患者がした場合でもすぐに対応できる準備をします。ご承知おきください。風邪の諸症状で欠席する場合は、出席停止扱いになります。**基礎期全員で、元気に冬休みを迎えるために、体調が悪い場合は、休むようにすることも大切です。**

## 3. キミのそのメッセージ、大丈夫？～SNSに上げてもいいかどうか、判断のポイント～

みなさんが「これってSNSに上げて大丈夫かな」と迷うような場面があったら、左の絵を思い出してください。SNSに上げてもいいのは、自宅の玄関に貼ることができるものだけ。それが基準であり、それが限界です。自宅の玄関に貼れないものをSNSに上げたら、あっという間に「炎上」してしまうことでしょう。

時々「△△さんが自分の悪口を書き込んでいる」という話を聞きます。書き込んだ人は「グループ内の人しか見られないようになっているから大丈夫」と思っているかもしれませんが、



カンニング  
大成功!  
これで100点  
やったね!

この情報、  
自宅の玄関に貼  
れますか?

ボクのケータイ  
090-xxxx  
-xxxx

〇〇ちゃんって  
ウザい?

**不特定多数に個人情報公開!?**

**みんなに悪口を披露する!?**

も、もしもその中の一人がグループ以外の人にそれを送ったとしたら…その後はどうなるでしょう。そして、何より上のことと同様、相手に面と向かって言えないようなことはSNSにも上げないことが大切です。このプラカードを持っている2人の絵を見て、あなたは、どう思いましたか? 「なんて危ないことをしているんだろう」「バカだなあ」「ありえない」…。ほとんどの人は「こんなことをしてはいけない」と思うことでしょう。でも、SNS上ではどうでしょうか。あなたのしていることは本当に安全かな?

長期休暇に入るとついスマホに依存してしまう生徒もいると思います。スマホに使われないで、スマホを活用して、生活するように心がけましょう。